

表 3.5: 課題 3 のプログラムの続き

アドレス	機械語	ラベル	ニーモニック	コメント
8600			ORG 8600H	
8600	—	TIMER:	LD H, D	
8601	—		LD L, E	
8602	5F		LDE A, A	A レジスタの値を E レジスタに転送
8603	2B	TLOOP:	DEC HL	HL レジスタの値から 1 を引く
8604	7C		LD A, H	H レジスタの値を A レジスタに転送
8605	B5		OR L	A の値と L の値の論理和をとる
8606	20 FB		JR NZ, TLOOP	フラグレジスタが NZ ならば TLOOP にジャンプ
8608	7B		LD A, E	E レジスタの値を A レジスタに転送
8609	C9		RET	ルーティンの終了
860A			END	

3.4 考察課題

考察課題 1 「メモリマップド IO」とはどのような入出力の方式か、説明せよ。

考察課題 2 「メモリマップド IO」ではない方式で入出力を行うマイコンの IO 空間はどのようなになっているか、説明せよ。

考察課題 3 次回の課題プログラムの流れを考えよ。